

令和4年度
補正予算(第7号)
一般会計
4000万円
追加

主な歳入(増減)
地方交付税 1億2565万円
繰入金 ▲1億4404万円
諸収入 8849万円

主な歳出(増減)
衛生費 1億5302万円
総務費 ▲4572万円
土木費 ▲1466万円
農林水産業費 ▲1825万円

特別会計(増減)
○国民健康保険 800万円
○簡易水道 ▲100万円
○公共下水道 ▲300万円
○介護保険 100万円
○後期高齢者医療 ▲200万円

問 高橋 きく子 議員
白石市外二町組合の解散に伴う概算精算金が計上されているがどの様な状況か。
答 町長
9月頃に決算が確定した段階で本清算になるが本町からの支出が発生する状況ではないと思っています。
問 高橋 浩之 議員
新型コロナウイルスの接種状況は。
答 健康福祉課長
ワクチン接種の回数は町内で1641回、町外で受けた方は73回になる。

歳入

問
ダム交付金が年々減額する中、いずれ上下水道への各家庭の負担増が予想される。財調の使い方は財政的にしっかりとした予算をくむべきでは。
答
財政調整基金は増加傾向だが、今後の情勢や人口減少に伴う住民負担など不確定要素もあり備えは必要。基金の目安として7億円ほど持ちたいので、今の基金との範囲で運用、財政を考えたい。

歳出

問 庁舎エレベーター新設事業の内容は。
答 11人乗りでバリアフリー仕様、町民税務課の奥が入口になる。
問 バイオセンター解体跡地利用計画は。
答 町有住宅用地を計画している。
問 衛生費
問 放射能汚染廃棄物処理業務の計画は。
答 現在800t余りの牧草が保管されているが、国の方針もあり仙南クリーンセンターにて焼却処分する。

◆総括質疑
問 ふるさと体験交流館は債務負担行為額が昨年度末に増額された。指定管理を全国公募すれば経費削減につながるのではないか。
答 町民にできるだけ働いていただく施設なので、基本的に町外事業者は考えていない。町内で力を合わせ施設を維持できる仕組みを作りたい。
問 町長の施政方針に「観光事業者間の連携と回復につながる効果的な対策」とあるが、具体的な考えは。
答 観光協会に加盟している団体の中で、他の方々と連携しながら観光を推進し、具体的にはまちづくり株式会社と七ヶ宿観光開発株式会社の統合をして集客を図っていく。
問 令和5年度は5億ほどの起債、地方債を含む予算だが事業の優先順位への考えは。また、今後、現保育所の解体や園庭整備などで公債費比率が膨らむのでは。
答 長期総合計画や第2次地方創生総合戦略の中で財源が確保できる事業を優先している。
公債費比率や起債残高も含めしっかりと財政運営を行い、起債は過疎債を重点的に採択したい。
※公債費比率 人件費や扶助費、公債費の占める比率が大きいほど経常的経費の増大傾向が強く、財政構造が悪化し、地方公共団体が財政の健全化を図る上で大きな障害となってくる。

問 民生費
問 小型除雪機購入助成金の増額は。
答 現在購入金額の3分の1、最大10万円助成が上限だが物価高騰もあり今後検討したい。
問 土木費
問 町道湯原線舗装修繕工事の内容は。
答 湯原地区荒町から「おたて」までの舗装修繕工事を行う。
問 消防費
問 防災備蓄倉庫備品購入の内容は。
答 災害時に必要な簡易ベッ トなどの購入や非常用発電機なども装備する。



予算特別委員会